

公共施設（小中学校を除く）における

政策調整課

トイレの洋式化を推進

施設利用者の利便性と快適な利用環境を向上

本市における小中学校を除く公共施設の洋便器率は、64.3%（219施設）に留まっています（平成29年12月現在）。

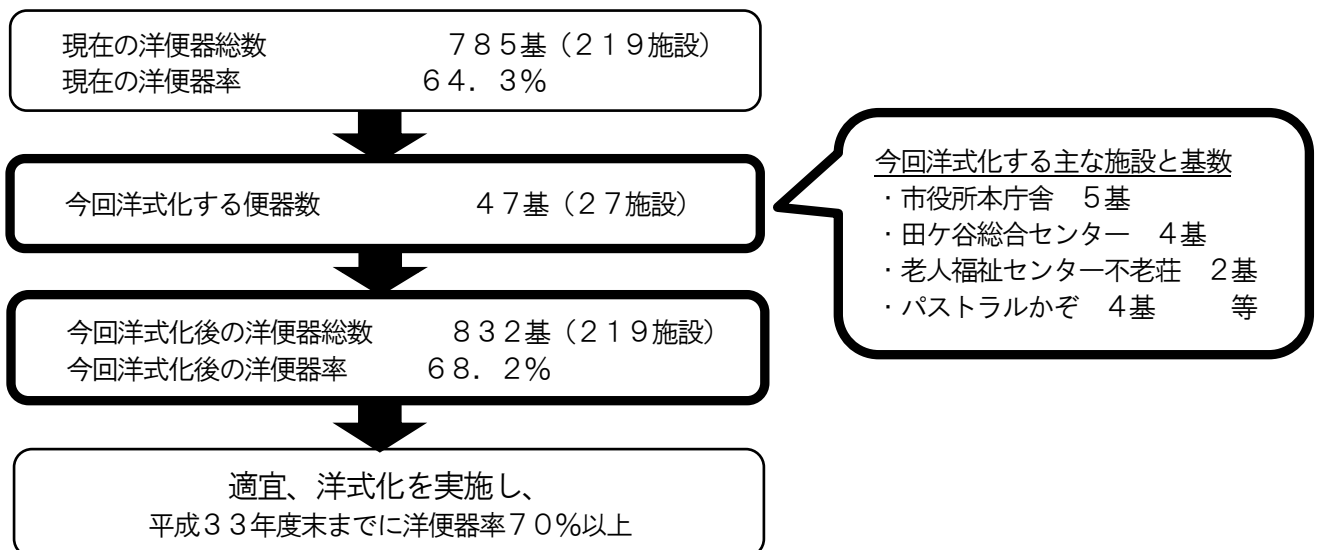
そこで、平成33年度末までに洋便器率70%以上を目指すことなどを定めた「加須市公共施設におけるトイレの洋式化に関する基本方針」を策定し、これに基づくトイレの洋式化を推進することにより、施設利用者の利便性と快適な利用環境の向上を図ります。

	和便器数	洋便器数	計	洋便器率
市内公共施設（小中学校を除く）便器数	435基	785基	1,220基	64.3%

■ 加須市公共施設におけるトイレの洋式化に関する基本方針（抜粋）

- 目 標 平成33年度末までに洋便器率70%以上
- 洋式化実施基準 ①不特定多数の住民等が日常的に利用する施設
（優先順位の目安） ②トイレ1箇所につき、洋便器が全くないトイレ
③当該施設全体で洋便器率が70%未満である施設
④現時点において、今後10年程度の期間内に大規模改修を実施する予定がない施設
- ※ 上記①～④のいずれにも該当する箇所から施設の利用状況等を考慮しながら、実施箇所を選定する。
- ※ また、上記①～④のいずれかに適合しない箇所であっても、施設の利用状況等を踏まえ、実施箇所に加える。

■ 洋便器率70%以上を達成するまでの流れ



■ 補正予算額 24,843 千円【市費】（今回洋式化する便器【47基27施設】の合計）